大地

Vol.78

R7 新年号

夕日に照らされる「萩尾ため池」（熊本県宇城市）

Contents

Greeting

●新年のご挨拶　水土里ネット熊本　会長　竹﨑 一成 …… 1
●第18期（令和5年4月～令和9年3月末日）役員名簿 …… 1
●新年にあたって　全国水土里ネット　会長　二階 俊博 …… 2
●新年のご挨拶　全国水土里ネット会長会議　顧問
参議院議員　進藤 金日子 …… 3
●新年のご挨拶　全国水土里ネット会長会議　顧問
参議院議員　宮崎 雅夫 …… 4

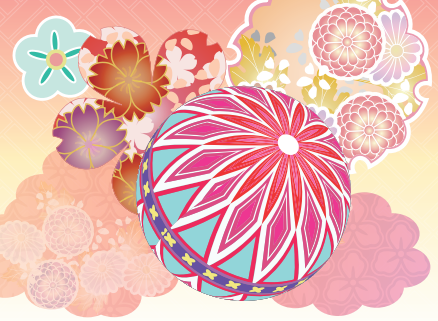
Action

●「第46回全国土地改良大会 千葉大会」が開催 …… 5
・全土連会長表彰　米村 邦男 氏（渡鹿堰土地改良区理事長）
●「農業農村整備の集い」が開催 …… 6
●土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動 …… 6
●「農業用ため池の保全・管理研修会」を開催 …… 7
●「令和6年度 水土里ネット役職員研修会」を開催 …… 7
●くまもと水土里ネット女性の会による「水土里マルシェ」を開催 …… 8
●「全国水土里ネット女性の会 会長就任」-会員支援課長　西 彩- …… 8

Information

●令和6年能登半島地震の復旧・復興に対する支援 …… 9
●「2024くまもと農業フェア」が開催 …… 10
●防災重点農業用ため池の整備に係るパンフレットを作成しました …… 10
●土地改良法律相談のご案内 …… 11
●複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内 …… 11
●土地改良区の「指導監査」のご案内 …… 11
●第47回 全国土地改良大会 佐賀大会のお知らせ …… 11

熊本県土地改良事業団体連合会
水土里ネット熊本
MIDORINET KUMAMOTO



新年のご挨拶

水土里ネット熊本
（熊本県土地改良事業団体連合会）　会長　竹﨑　一成

新年明けましておめでとうございます。

日頃より本会の業務運営ならびに農業農村整備事業の推進に対し、格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、能登半島地震から始まり、異常気象による記録的な高温や渇水、豪雨災害など、全国各地で農業に深刻な影響を与え、農業経営に大きな打撃をもたらしました。また、世界的なエネルギー価格の高騰や物流の混乱が続く中、農業を取り巻く環境はますます厳しさを増した一年でした。

そのような中、四半世紀ぶりに改正された「食料・農業・農村基本法」では、食料安全保障を基本理念として掲げられ、特に我々の分野では、農業生産基盤の「整備」と「保全」の重要性が明確に位置付けられたことは極めて意義深いものでした。

今後、農業農村整備に密接に関わる「土地改良法」の改正や新たな「土地改良長期計画」、「国土強靭化実施中期計画」の策定が進められますが、これらは、農業農村整備にとって、まさに追い風となるものであります。

本会としましても、これらの法や計画が目指す目標を十分に理解した上で、現場での課題解決や土地改良施設の整備・保全管理業務を通じて、地域や農業に貢献していることを実感しながら職務に全力で取り組んで参ります。

会員の皆様並びに熊本県や関係団体と更に連携を深めながら、地域に根差した農業振興と次世代に引き継ぐ持続可能な農業と農村の基盤づくりに、役職員一丸となって取り組んでいく所存ですので、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多く、希望に満ちた一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

●第18期（令和5年4月～令和9年3月）　役員名簿

（令和7年1月現在）

会長	竹﨑　一成（芦北町長）
副会長	坂田　孝志（八代平野北部土地改良区理事長）
副会長	元松　茂樹（宇土市長）
常務理事	久保田　修（学識経験者）
理事	津田　正昭（熊本市西南土地改良区理事長）
理事	坂本　直人（小川町土地改良区理事長）
理事	西村　博則（益城町長）
理事	金田　英樹（大津町長）
理事	古庄　廣美（泗水町土地改良区理事長）
理事	中逸　博光（長洲町長）
理事	早田　順一（山鹿市長）
理事	本田　二男（阿蘇土地改良区理事長）
理事	藤本　一臣（氷川町長）
理事	森本　完一（錦町長）
理事	馬場　昭治（天草市長）
総括監事	北野　安正（熊本平野南部土地改良区理事長）
監事	吉良　清一（南阿蘇村長）
監事	岡村　文明（百太郎溝土地改良区理事長）

新年にあたって

全国水土里ネット
（全国土地改良事業団体連合会）　会長　二階　俊博

令和７年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、年始めの１月１日に石川県能登地方を震源とした震度７の大地震が発生し、能登半島を中心に甚大な被害が発生するとともに、９月には記録的な豪雨により奥能登ではさらに被害が増し、能登半島は未だ復旧、復興の途にあります。

また、全国各地で記録的な豪雨が相次ぎ、大きな被害が発生しました。被害を受けられた地域の一日も早い復旧・復興を祈念するとともに、我々土地改良団体も団結して被災地の支援に取り組んでいかなければなりません。

さて、令和７年の干支は乙巳（きのとみ）であります。努力を重ね、物事を安定させていくという意味合いを持ち、これまでの努力や準備が実を結び始める時期とされています。これまで我々土地改良関係者が積み重ねてきた様々な努力が実を結ぶ年となることを強く祈念するところです。

昨年、食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の強化」、「環境と調和のとれた食料システムの確立」が新たな柱に位置付けられました。令和７年度農林水産関係予算は、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の５年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算となっており、農業農村整備事業関係予算においては4,464億円が確保され、令和６年度補正予算を加えると6,500億円となります。皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

第５次男女共同参画基本計画及び土地改良長期計画において、令和７年度までに女性理事が登用されていない土地改良区及び土地改良区連合をゼロに、併せて女性理事の割合を10％以上とすることが成果目標に設定されており、いよいよ最終年度を迎えました。皆様の御理解をいただき着実に女性理事の登用が進められてきたところですが、目標達成に向け、更なる取組をお願いしたいと思います。将来の土地改良団体の体制強化と発展には女性の力は必要不可欠です。女性が活躍できる環境づくりに関係各位の一層の御理解と御協力をお願いします。

そして、本年は我々の職域の代表である宮崎雅夫さんの勝負の年ともなります。もう一人の代表である進藤金日子さんと共に全国津々浦々の現場を回り、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。二人体制の重要性を十分に御理解いただき、皆さんの声を国会に届けるためにお二人の活動の支援をお願いします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。「闘う土地改良」を旗印として組織一体となって更なる闘いを続けていこうではありませんか。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

闘う土地改良

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問　参議院議員　進藤　金日子（かねひこ）

熊本県土地改良事業団体連合会の皆様には、平素よりお世話になっています。

昨年は元日に能登半島地震、８月に宮崎県沖地震が発生し、南海トラフ地震の発生可能性が高まり、巨大地震注意臨時情報が発表されました。改めて地震大国日本を感じ、国土の防災・減災、国土強靱化を進めていく必要性を痛感した１年となりました。

昨年６月には食料・農業・農村基本法が改正され、初動の５年間を「農業構造転換集中対策期間」として農業政策の再構築を図ることとしており、本年は初動一年目の重要な年となります。

また、私は一昨年の12月14日から約11ヶ月間、財務大臣政務官を務め、国の財政について日常的に接する機会を得ました。国家財政の観点からも我が国の将来像を考えていく必要があります。

さて、現在の防災・減災、国土強靱化５か年加速化対策は、計画期間が令和３～７年度、事業規模は概ね15兆円程度となっています。現在、次期対策の国土強靱化実施中期計画の検討が進められていますが、この計画に土地改良について「農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策」や「防災重点農業用ため池の防災・減災対策」等を位置付け、事業規模も現対策以上の規模を確保する必要があります。

次に農政については、本年３月までに食料・農業・農村基本計画が策定されます。政府の方針は、「輸入依存度の高い麦・大豆の増産、水田政策を見直す取組、輸出の抜本拡大を図る取組等について効果的な政策を基本計画に盛り込む」（令和６年８月27日、「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」）ことであり、今後、具体的な検討が進められます。

食料安全保障の確保のためには、食料自給力の強化が不可欠で、①土地改良対策、②担い手対策、③試験・研究、普及・生産対策をパッケージで実施することが必要です。このうち、土地改良については、令和６年度補正予算の2,037億円と令和７年度当初予算政府原案の4,464億円を加え、6,500億円の予算を確保しました。この予算を活用して対策を進めていく必要があります。

最後に我が国財政を見てみます。令和６年度末の公債残高は、特例公債（いわゆる赤字国債）残高が803兆円、建設公債残高が298兆円で1,105兆円となる見込みです。この15年間に公債残高はほぼ倍増し、赤字国債は2.26倍、建設公債は1.25倍となっています。建設国債は社会資本ストックを後世代に残すことから、後世代に負担を求めることが可能ですが、赤字国債の負担を求めることは困難です。デフレから完全脱却して経済成長を促し、将来にわたり税収を増やして財政の健全化を図り、後世代の負担を軽減し、政策選択の自由度を確保することが重要です。

農政や国土強靱化、我が国経済の転換の節目である令和７年のはじめにあたり、決意新たに農業農村の振興、国家の発展に向けまい進していきたいと考えています。同志の宮崎雅夫議員共々皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げるとともに、熊本県土地改良事業団体連合会の一層のご発展とご繁栄をお祈りいたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問　参議院議員　宮崎　雅夫

熊本県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

また、昨年も能登半島地震をはじめ、各地で甚大な災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常生活を取り戻して頂けるよう、復旧・復興に最大限の努力をしてまいります。

さて、昨年は、社会情勢の不安定化等に起因し、食料や資材価格等が高騰するとともに、全国的に食料供給に対する懸念も広がった１年でした。食料は、生命維持に不可欠なものであり、どのような事態が生じたとしても安定的に確保することが国の責務であります。このような状況に対応するため、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」を大幅に改正しました。

私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、それぞれの状況に即して、国政の場から全力で対応してまいりました。土地改良関係の令和６年度補正予算では、昨年度の補正予算から260億円増の2,037億円を確保できました。加えて、12月に閣議決定した令和７年度当初予算案では、前年度を上回る4,464億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,500億円を確保することができました。皆様方のご尽力に感謝申し上げますとともに、次期通常国会において、早期成立に向け努力してまいります。

また、改正基本法に沿って、土地改良法を始めとする関係法令等の新設・改正を行うこととしています。特に、本年は改正基本法を実効あるものとしていく「農業構造転換集中対策期間」５ヶ年がスタートする年であり、より良い施策展開のためには、現地課題等を十分に把握し、それに対応したものとなるよう全力で対応してまいります。

本年は私にとって節目の年となりますが、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、熊本県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。

●「第46回全国土地改良大会 千葉大会」が開催

令和６年10月22日（火）、千葉県千葉市の「幕張メッセ」において全国土地改良大会 千葉大会～ふさの国から飛び立て水土里の恵み 力強く 未来に繋ごう水土里の礎～が開催されました。

本会からは、竹﨑一成会長、坂田孝志副会長、久保田修常務理事他５名の理事・監事並びに事務局７名が参加しました。加えて熊本県からは、永田稔農村振興局長他１名が参加され、県下の土地改良区から22団体34名を合わせた総勢51名が本全国大会に参加しました。

「全国土地改良大会千葉大会」会場の様子

熊本県参加者集合写真

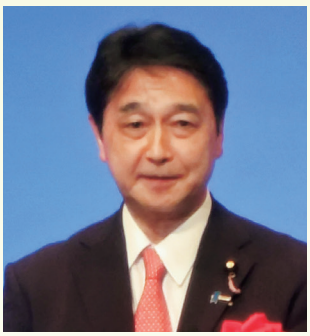
開会にあたり、水土里ネット千葉 森会長が開会挨拶、主催者を代表して全国水土里ネット 二階会長が挨拶、続いて熊谷千葉県知事、神谷 千葉市長が歓迎のことばを述べられました。来賓挨拶では、小里農林水産大臣（当時）、千葉県選出の国会議員並びに進藤・宮崎両全国水土里ネット会長会議顧問が祝辞を述べられました。

大会式典の中で行われた土地改良功績者表彰では、渡鹿堰土地改良区の米村邦男理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞され、長年にわたり土地改良事業の推進に貢献された功績が称えられました。

次に、青山農村振興局次長による基調講演、優良地区事例紹介、大会宣言と続き、次期土地改良大会開催県である佐賀県の紹介とともに、大会旗が水土里ネット佐賀へ引き継がれ、式典は盛会のうちに終了しました。

水土里ネット千葉
森会長

全国水土里ネット
二階会長



全国水土里ネット会長会議
進藤顧問

全国水土里ネット会長会議
宮崎顧問

◆全国土地改良事業団体連合会会長表彰

渡鹿堰土地改良区理事長

米村　邦男氏

【主なご功績】

- 令和２年から土地改良区理事長就任。
- 熊本市中心街を流れる幹線水路等は、大雨時はより適切な用排水管理が求められ、冠水被害を防ぐ取組みとして米村氏が中心となり、パトロールや取水堰の管理を行い災害の未然防止に尽力。
- 理事長就任後は、渡鹿堰を中心とした世界かんがい施設遺産「渡鹿用水」（平成30年に白川中流域用水群として登録）の維持管理に尽力。
- 令和４年には維持管理適正化事業において、渡鹿堰の部分的改修を行い、施設の適正化・長寿命化を図ると共に、改正土地改良法における「代行業務」を積極的に実施。
- 農業振興以外にも熊本市消防団の副団長としてリーダーシップを発揮し、平成28年の熊本地震の際には地域の巡回や被災箇所の把握を積極的に行い、早期の復旧・復興に貢献。

●「農業農村整備の集い」が開催

「農業農村整備の集い」が全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの共催により、令和６年11月５日（火）、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて開催されました。全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員、農林水産省から小里泰弘農林水産大臣（当時）をはじめ農村振興局幹部、衆参両院の国会議員が多数出席し、全国の土地改良関係者を合わせて900名以上が参集し開催されました。

◆主催者挨拶　全国水土里ネット　二階 俊博会長
全国各地から農業農村整備の集いに出席頂いた土地改良関係者に対し謝辞を述べられた後、農家の方が安心して働いていけるような環境を整えるために「令和７年度予算確保に向け、一致団結して闘っていかなければならない」と力強く訴えられました。

「農業農村整備の集い」会場の様子

出席者による「ガンバロウ三唱」

進藤金日子参議院議員及び宮崎雅夫参議院議員からの情勢報告が行われた後、出席者の代表として全国水土里ネット女性の会 西彩会長（水土里ネット熊本会員支援課長）が音頭を取り、参加者全員で力強く「ガンバロウ三唱」を行い、盛会のうちに終了しました。

●土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動

令和6年11月6日（水）に、九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同での農林水産省・財務省並びに関係国会議員等、関係各機関に対する合同要請・要望活動を実施しました。

本会からは、竹﨑一成会長、坂田孝志副会長、他事務局２名が参加しました。

今回の要請・要望活動では、森山裕幹事長、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、前島農村振興局長、青山農村振興局次長、緒方整備部長（当時）と面談し、令和７年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに国土強靭化対策に必要な予算措置など要望書記載の６項目について積極的に要請・要望活動を展開しました。

前島明成農村振興局長への要請・要望活動

森山裕幹事長への要請・要望活動

農業農村整備事業に関する要望書

●「農業用ため池の保全・管理研修会」を開催

令和６年10月16日（水）、本会のため池サポートセンターが主催となり、初の試みとなる「農業用ため池の保全・管理研修会」を熊本市南区の「新地ため池」で開催しました。

この研修会には熊本県及び本会職員、県内の市町村や土地改良事業関係者計22団体の46名が参加し、農業用ため池の仕組みや工事内容を実地で学ぶ貴重な機会となりました。

なお、令和12年度までに防災重点農業用ため池の防災工事を着手する必要があることから、本会としましても各市町村のお力添えになれるよう体制を整備してまいります。

●「令和6年度 水土里ネット役職員研修会」を開催

第１部　ー研修会ー

令和６年11月21日（木）、メルパルク熊本において、本会と熊本県の共催による「令和６年度 水土里ネット役職員研修会」が開催されました。本研修会は、県内土地改良区の運営基盤強化を目的として実施され、県内各地の土地改良区から168名の参加がありました。

私たちは、研修会の開催を通じて、多岐にわたる分野から講師を招聘し、会員の皆様に様々な情報を提供することで、今後の業務遂行を力強く支えてまいります。

～プログラム～

開会挨拶（水土里ネット熊本　久保田常務理事）

①国及び熊本県の農業情勢について（熊本県むらづくり課）

②土地改良区における不祥事の未然防止について
（九州農政局土地改良管理課）

③農業基盤整備資金について（日本政策金融公庫）

④あなたでもできるロコモ体操（日本赤十字社）

⑤地域は自分たちが守る
～土地改良区等におけるICTの活用事例について～
（連日峰土地改良区（宮崎県）、農事組合法人うつぎファーム）

⑥ため池整備に係る情報提供（水土里ネット熊本 保全管理総合センター）

閉会挨拶（熊本県農林水産部農村振興局　永田局長）

水土里ネット熊本
久保田常務理事 開会挨拶

熊本県
大森課長 講話

九州農政局
石村指導官 講話

日本政策金融公庫
松本課長代理 講話

開催状況

日本赤十字社
ロコモ体操

農事組合法人うつぎファーム
早樋代表理事　事例発表

水土里ネット熊本
飯島所長 情報提供

熊本県
永田局長 閉会挨拶

第２部　ー熊本県知事講話ー

熊本県　木村 敬 知事

ー今後の熊本県の農業振興についてー

同研修会の第２部として、熊本県の木村 敬知事より「今後の熊本県の農業振興について」と題し、ご講演を賜わりました。

本講演では、日本有数の農業県である本県が誇る特色ある農業の持続化に加え、知事が提唱する「食のみやこ熊本県」の創造を実現するための喫緊の課題である「担い手の育成」の重要性が強調されました。

さらに、生産性向上に不可欠な基盤整備の推進や農業水利施設の計画的な更新、さらには、農業農村が持つ地域の多面的機能を活かした農地の保全・管理において、土地改良区の役割が極めて重要であることが述べられました。

●くまもと水土里ネット女性の会による『水土里マルシェ』を開催

くまもと水土里ネット女性の会が主催し、令和６年11月２日（土）に水土里ネット熊本屋外スペースにおいて「水土里マルシェ」が開催されました。

当日は悪天候ながら、多数の地域住民及び土地改良関係の皆様にご来場いただきました。

本マルシェでは、県内各地の新米の食べ比べやジビエスープの試食をはじめ、県内産の新米や新鮮な野菜、果物、花類の販売を行いました。また、学習コーナーでは、水源かん養や田んぼダムのジオラマ展示、水土里ネットの活動に関するパネル展示を行い、アンケートやクイズを通じて子どもから大人まで幅広い世代の皆様に水土里ネットの取り組みについてご理解いただく貴重な機会となりました。

アンケートの中では「ぜひ来年も開催してほしい」との意見も多数寄せられており、今後も女性の会の活動の一つとして継続して参りたいと思っております。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

おてもちゃん
（マスコットキャラクター）

ーくまもと水土里ネット女性の会ー
県内土地改良関係機関（土地改良区、県、県土連）の
女性職員等で構成（94名_令和６年度）されており、
平成30年度より活動しています。

●「全国水土里ネット女性の会　会長就任」ー会員支援課長　西 彩ー

令和6年9月25日に東京都で開催された「農業水利施設の保全管理の在り方シンポジウム」で講演を行う西会長

令和６年４月付で全国水土里ネット女性の会の会長を拝命いたしました、西彩でございます。

土地改良の分野は、これまで主に男性が中心となって活動されてきました。しかしながら現代社会においては、私たち女性の活躍が不可欠であり、多様な人材が集まることで新しいアイデアや視点が生まれると確信しております。

全国の皆様の前で活動の事例等をお話しさせていただく機会も多く、様々な地域の方と意見交換させていただく機会も増えました。

私自身これを学びの機会ととらえ、誰もが働きやすい水土里ネットの実現、農村地域が抱える様々な課題解決に向けた取り組みを加速化させるため、熊本、全国での活動を一層充実させて行きたいと思います。

今後とも皆様のご支援とご協力を賜りながら、「強く、しなやかに」頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

●令和6年能登半島地震の復旧・復興に対する支援

令和６年元日、能登半島沖を震源とする「能登半島地震」が発生しました。この地震では、沿岸部では津波、農村地域では各所で土砂災害が発生し、農地や農業用水利施設に甚大な被害をもたらしました。

本会は、近年の大規模災害を通じて培った経験を活かし、被災地である石川県への職員派遣を実施しました。高度な技術を有する職員を派遣することで、災害復旧事業を支援し、被災地の復旧・復興を後押ししています。

職員派遣壮行式における久保田常務理事の挨拶

久保田常務理事及び本会幹部職員と派遣職員

河地事務局長による激励の挨拶

被災した現地測量1

被災した現地測量2

本会から派遣された職員は、災害派遣先である石川県志賀町において、地元営農者から復旧要望が上げられた被災箇所の調査や、災害査定に係る計画図面、査定設計書の作成を実施。

平成28年の熊本地震や令和２年の豪雨災害で培った経験を活かし、被災地が早急に復旧できるよう努めてまいりました。

派遣先での実施状況

●「2024くまもと農業フェア」が開催

熊本県内の農畜産物などをPRする「2024くまもと農業フェア」が、令和6年11月9日（土）、10日（日）、合志市の熊本県農業公園「カントリーパーク」にて開催されました。

本会は、熊本県農村計画課と共同で「田んぼダム模型」及び「水源かん養システム模型」の展示、「田んぼダムの取組み」に関する動画上映、「田んぼダムの取組み」や「世界かんがい施設遺産」、「男女共同参画推進」に関するパネル等の展示を行い、農業農村整備の取り組みを広く発信しました。開催中は降雨もありましたが、当初の想定を上回る多くの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

2024くまもと農業フェア会場の様子

見学者が集まった展示ブース

農村計画課による田んぼダムの紹介

本会職員による田んぼダムの紹介

●防災重点農業用ため池の整備に係るパンフレットを作成しました

本会では、市町村に点在する防災重点農業用ため池の適切な保全・管理や、整備を推進するためにパンフレットを作成しました。私たちが持つ関係機関との繋がりや、これまで培ってきた技術力で、ため池を所有している会員の皆様が持つ、維持管理や工事に関する悩みを本会が解決できるようお力添えします。

問い合わせ先：水土里ネット熊本 保全推進課　TEL 096-348-8807

パンフレットの詳細については、こちらよりご覧ください。

土地改良法律相談のご案内

近年、土地改良事業及び土地改良区を取り巻く環境は、施設の多様性や農村地域の都市化、混住化により諸問題等が複雑化・高度化しております。このような社会背景を基に、本会では土地改良事業相談等事業による法律に関する相談業務について、顧問弁護士に委嘱し会員の皆様の問題解決に努めております。

毎月１日を定期相談日と定め、（急を要するものについては随時）対応しておりますので、問題等ございましたら気軽にご相談下さい。

また、本会HPにて、これまで土地改良相談等事業で扱った相談内容の一部を掲載しています。

▲詳しくはこちら

相談窓口・担当課：会員支援課　会員・地域支援係　電話：096-348-8802（直通）
上田　shinji.ueda@higosanae.or.jp

複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内　問題解決をサポートします！

土地改良法の一部改正により、土地改良区等は令和４事業年度から、貸借対照表の作成が義務付けられました。このことから、本会職員（会計指導員）が複式簿記の巡回指導をおこない、土地改良区等への複式簿記会計について支援しています。

また、財務管理に関するサポートとして、本会職員（会計指導員）が電話やメールによるご相談にお答えいたします。

土地改良区の「指導監査」のご案内

平成31年４月１日施行の改正土地改良法により土地改良区は、令和５年度の通常総会までに員外監事の選任が必要でした。

ただし、契約により公認会計士や税理士の指導を受けている場合、あるいは「土地改良連合会の指導監査」を受ける場合は、員外監事の選任が不要となります。

そのため、令和６年度より本会会計指導員による「指導監査」を実施することといたしましたので、ご要望の際はお気軽にご相談ください。

▲詳しくは本会HPから
ご覧ください

相談窓口・担当課：財務経理課　財務指導係　電話：096-348-8808（直通）
石井 daisuke.isii@higosanae.or.jp

第47回 全国土地改良大会佐賀大会のお知らせ

令和7年10月15日（水）、第47回全国土地改良大会佐賀大会（全国土地改良事業団体連合会、佐賀県土地改良事業団体連合会主催）が、「SAGAアリーナ」を会場に開催されます。

大地 Vol.78
令和７年新年号
■発行所／水土里ネット熊本
（熊本県土地改良事業団体連合会）
■編集発行人／竹﨑一成